

令和3年度

事業報告書



社会福祉法人

大洲育成園

目次

令和3年度 事業報告	1～2
障害者支援施設大洲育成園 利用状況 利用実績（支援区分別）	3～4
施設入所支援	5
年間行事	6～7
生活介護	8
短期入所・日中一時	9
相談支援事業 大洲育成園	10～11
食事サービス	12～13
保健医療サービス	14
実習生・ボランティア受入・クラブ活動・定期的な行事	15
福祉サービス第三者評価の受審・苦情解決への取り組み	16
サービス相談日・4法人連携協定会議	17
利用者会議・職員会	18
支援会議	19

各種委員会活動

(1) サービス向上委員会・(2) 地域交流委員会	20
(3) 安全衛生委員会・(4) 支援マニュアル見直し検討委員会	21～24
(5) 感染症対策委員会・(6) 人材育成委員会	
(7) 虐待防止委員会・リスクマネジメント委員会（事故報告件数・ひやりはっと事例報告件数）	25
(8) 研修委員会・(9) 広報委員会	26

令和3年度事業報告

総合施設長 池田 隆三

1. 事業環境

令和3年度の施設サービスは、施設入所定員74名（現70名）生活介護定員74名（現63名）就労B型他事業所7名でスタートした。

年度内の利用者異動は、新規入所者2名、介護保険移行等（退所）3名、他就労B型から当施設生活介護へ変更が1名により、年度末の利用状況は施設入所69名、生活介護63名、就労B型他事業所6名となる。

短期入所及び日中一時のサービスは、圏域の感染症の状況により感染症対策委員会を開催し、本人及び保護者の理解を得て一時的な利用中止の期間を設けながら提供を続けた。また、他事業所の就労継続支援B型利用については、「感染縮小期」までの期間は利用したものの「感染警戒期」以上のレベルでは各事業所と連携しながら利用を控えた。

2. サービス充実と感染症対策

利用者の身体拘束ゼロを目指し支援をすすめるが、高齢化等による歩行機能の低下から転倒がみられる。そのためケース会議を開催し怪我防止用保護帽の着用が必要な場合は、本人、保護者の同意を得て使用し、その都度状況を記録した。また、車椅子使用の利用者を中心に介護リフトを活用することで、利用者のより安全な移乗に役立ち、支援員の腰痛予防、軽減にもつながった。

令和4年度より事業所における虐待防止及び身体拘束の適正化にかかる取組が義務化されることから、今年度から検討を重ねた。

今年度で4度目の福祉サービス第三者評価を受審した。まず、職員間で個別に自己評価を行うことで現状を把握し、第三者委員による評価結果を基に改善に取り組んでいる。

利用者の通院等送迎における職員の安全運転や法令遵守の意識向上のため、職員全員の協力を得て運転記録証明書を取得し、安全運転、交通ルールの遵守に努めた。その取り組みが認められ7月に愛媛県警本部並びに自動車安全運転センターより最高位のプラチナ賞を受賞した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止については、行政からの通知に従い対策を継続した。当施設の行事はもとより、愛媛県、大洲市、県福祉協会、南予福祉施設会をはじめとする様々な行事が中止となった。

2月指定管理中の市立大洲学園においてコロナ陽性者が確認され、それ以降施設内で蔓延してしまった。保健所、大洲市の指導を受けながら、育成園から7名の職員を学園へ派遣し対応した。手薄になった育成園へは市内社会福祉法人災害時相互応援協定に基づき職員派遣の協力を受けた。法人一丸となって対応した結果、重症化する利用者もなく24日間で終息した。外出、外泊、面会についても保護者へ協力をお願いして自粛制限を設けた。利用者にはストレスに繋がらないよう感染対策を講じながら地域交流行事のイルミネーションは規模を縮小して施設内で開催した。また、定期的に施設内でフライングディスク大会やボッチャ大会等のレクリエーションを行った。

コロナワクチン接種については、市と連携をしながら年度内に3回目を実施した。

今後も行政からの指導を基に圏域における感染状況を把握し、施設内感染症対策委員会で検討しながらコロナ禍における制限ある生活において、利用者の精神的に安定した暮らしへ十分に配慮したい。

3. 健康経営

利用者が笑顔で生活できる施設づくりのためには、まずは支援者である職員が心身共に健康であることが重要です。職員が健康で働き続けることができる事業所を目指し、健康づくりに取り組む「健康づくり推進宣言」を継続している。今年度は、その取り組みが認められ「健康経営優良法人 2021」ブライト 500 の認定を受けることができた。中小規模だからできる職場環境整備を今後も継続したい。

職員の健康こそが経営の基盤であり、ワークライフバランスの取り組みとして、有給休暇の積極的な取得や、育児・介護休暇取得を啓発して働きやすい職場環境づくりに努めた。令和3年度においては、2名が育休を取得している。

4. 人材確保

職 種	総合施設長	サービス管理 責任者	生活支援員	相談支援員	看護師	管理栄養士	調理員	書記	合計
令和3年 4/1 現在	1	2	27	2	1	1	7	5	46
減員 (退職)			4				1		5
増員 (採用)			2		1				3
令和4年 3/31 現在	1	2	25	2	2	1	6	5	44

今年度上半期までの法人正職員登用試験は、介護福祉士の資格を取得した職員から実施していたが、下期においては新卒者採用条件に併せ、みなしで実施し合格者2名を次年度より正規職員とした。

5. 施設整備改修

平成11年に建替えた園舎は23年を経過し、設備の老朽化が目立ち始めている。今年度は、浴室ろ過機、業務用洗濯機更新の他、浄化槽鉄蓋交換、空調機保守点検、指導員室プロジェクター設置を含めたリフォーム等を行った。

6. 事業拡大

令和3年4月より市立大洲学園指定管理(期間3年間)の初年度において、適正な運営を引き継ぐため、管轄の大洲市社会福祉課と定期的に連絡会を開催した。今年度で市職員は派遣期間が終了となるため、法人による採用試験を実施し人員確保に努めた。

障がい者支援施設大洲育成園

令和4年3月31日現在

1. 利用者状況

(1) 年齢別・性別の状況

平均年齢：64歳、最低年齢：28歳、最高年齢：80歳、65歳以上：43人

	20歳以上～ 30歳未満	30歳以上～ 40歳未満	40歳以上～ 50歳未満	50歳以上～ 60歳未満	60歳以上～ 70歳未満	70歳以上	計
男	1	0	4	3	19	9	36
女	0	0	1	1	21	10	33
計	1	0	5	4	40	19	69

(2) 障害支援区分

区分	6	5	4	3	2	計	平均
施設入所	25	24	17	3	0	69	5.0
生活介護	24	24	13	2	0	63	5.1

(3) 入所期間の状況（施設入所）

平均39年

在籍年数	0～9	10～19	20～29	30～39	40～	計
人数	9	4	6	8	42	69

(4) 行政機関

大洲	八幡浜	宇和島	西予	松山	伊予	内子	伊方	愛南	松前	計
27	7	6	8	4	2	9	3	2	1	69

2. 利用実績（支援区分別利用状況）

施設入所支 入所者2人（7/1・8/2）・退所者3人（他施設2人 1/5・3/15医療機関1人 2/5）													
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
3	111	93	90	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,116
4	459	496	480	496	526	510	527	510	527	527	476	527	6,061
5	779	806	780	806	799	772	806	780	790	744	646	704	9,212
6	750	751	735	806	778	778	790	765	791	800	714	783	9,241
合計	2,099	2,146	2,085	2,201	2,196	2,150	2,216	2,145	2,201	2,164	1,920	2,107	25,630
実数	70	70	70	71	72	72	72	72	71	71	70	69	

生活介護													
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
3	30	31	30	31	31	30	62	60	62	62	56	62	547
4	360	372	360	372	402	390	403	690	403	403	364	403	4,622
5	779	806	780	806	799	772	806	780	790	744	646	704	9,212
6	720	720	705	775	747	748	759	735	760	769	686	752	8,876
合計	1,889	1,929	1,875	1,984	1,979	1,940	2,030	1,965	2,015	1,978	1,752	1,921	23,257
実数	63	63	63	64	65	65	66	66	65	65	64	63	

施設入所支援

主任指導員 谷山洋二

【実施状況】

施設入所者(夜間)の睡眠、排泄及び食事等の必要な日常生活上の支援により、個々に必要な生活習慣が確立し快適な生活が送れるよう、また社会生活への適応性が維持できるように、生活介護などの日中活動と合わせての日常生活を一体的に支援した。

施設入所者の解決すべき課題に合わせ、サービス管理責任者が個別支援計画を策定し、利用者・保護者・サービス管理責任者・看護師・生活支援員で6ヶ月ごとにモニタリングを行い、利用者及び保護者等の意向を伺い、同意のもと支援を行った。また、身体機能の低下や入院等状況の変化により随時モニタリングを開き、個別支援計画の見直しを行った。

【総括】

コロナウィルス感染症予防の為、3密を避けての活動を行った。利用者の高齢化に伴い誤嚥事故防止の為、個別支援計画に基づく適切な食事形態(刻み食等)や食事介助の支援について再確認を行い、嚥下機能の改善を目指して口腔体操を継続し、誤嚥防止に努めた。

身体機能や筋力の低下に伴う転倒等のケースが増えていることから、日常生活訓練室を活用して、個別の機能訓練や歩行運動、機能の維持、機能低下防止を図った。また、歩行運動や活動場所への移動においても、要支援者への移動には1対1の支援を心がけた。利用者支援の中において、事故防止及び生活支援員の身体への負担軽減の為にリフトを使用して介助する事を勧め、技術支援の向上と意識改善の取り組みとして、介護用リフトの等の介護技術の研修会を実施した。

利用者の安全安心な生活維持、生活向上を第一に考えて対応した。

3. 行事

月	施設行事	福祉関係機関行事	地域行事
4	1・お花見(利用者 74 職員 17) 5・フライングディスク大会 15・ミュージックケア 18・家庭の日 (中止) 25・利用者会議・誕生会		
5	13・ミュージックケア 18・第1回健康診断 29・誕生会・利用者会議	【愛媛県】 障がい者スポーツ大会5/24 (陸上, 卓球, フライングディスク) (中止)	ゴミゼロ運動 (中止)
6	11・歯科検診 18・ミュージックケア 9・大掃除 20・家庭の日 (中止) 24・サービス相談日 24・大掃除 26・誕生会・利用者会議	【愛媛県】 障がい者スポーツ 大会6/13 (ボウリング) (中止)	
7	1・開園記念日 (利用者70 職員16) 16・ミュージックケア 24・誕生会・利用者会議	大洲学園夜市 (中止)	大洲市一斉清掃 (中止)
8	7・桃太郎工房夏まつり (中止) 23・ミュージックケア 29・誕生会・利用者会議		川まつり花火大会 (中止)
9	3・大洲市市議会議員選挙 期日前投票 (利用者11・職員3) 12・敬老会・ペタンク大会 (利用者70 職員14) (桃太郎工房夏祭り中止に伴う代替えで行う) 14・サービス相談日		

	26・誕生会・利用者会議 27・ミュージックケア		
10	18・ミュージックケア 29・衆議院議員期日前投票 (利用者11・職員3) 31・誕生会・利用者会議	【大洲市】 障がい者スポーツの集い10/22 (利用者66 職員8) *感染症拡大防止の為各事業所で実施	
11	16・ウォークラリー大会 (利用者65・職員14) (家庭の日中止に伴う代替え で行う) 26・ミュージックケア 28・誕生会・利用者会議	ゆうあいスポーツ四国愛媛大会 (中止)	大洲まつり (中止)
12	4・イルミネーション (地域交流行事としては中止 し規模を縮小し飾り付けのみ 行う) 14・ミュージックケア 21・大掃除 23・クリスマス会 (利用者65 職員11) 26・誕生会・利用者会議	大洲喜多法人会ケーキ贈呈 (ケーキ贈呈式は中止でケーキのみ 頂く)	
1	1・元旦・初詣 (中止) 17・ミュージックケア 30・誕生会・利用者会議		
2	2・節分 (豆まき) 28・誕生会・利用者会議		
3	3・サービス相談日 (中止) 3・ひな祭り 6・家庭の日 (中止) 27・誕生会・利用者会議		

生活介護（定員 74 人）

サービス管理責任者

水本百合子

【実施状況】

日中活動班として、たいよう班にて利用者のニーズに合った活動プログラムを組み、機能訓練・創作活動・生産活動を中心に実施した。

①機能訓練

心身の健康維持を図る為、計画に沿って機能訓練を支援し、楽しく参加しやすい環境を整えた。

②創作活動

クラブ活動で習字、貼り絵等利用者の興味や能力に応じた活動を計画し、実施した。又季節に応じた壁面飾り等、利用者一人ひとりが出来る事を支援した。

<たいよう班>

（令和 4 年 3 月 31 日現在）

【利用者数】

男 性	女 性	合 計	備 考
30 人	33 人	63 人	7 月に 1 人が入所 8 月に 1 人が入所 10 月に 1 人が就労継続支援 B 型より生活介護にサービス変更 1 月に 1 人が他施設へのサービス変更 2 月に 1 人が他施設へのサービス変更 3 月に 1 人が他施設へのサービス変更

【支援員】（令和 4 年 3 月 31 日現在）

男性	10 人
女性	13 人
合計	23 人

【総括】

コロナウィルス感染症予防の観点から 3 密を避けての活動を行った。利用者の高齢化が進み利用者のニーズも多種多様に変化が見られる為、利用者のニーズを的確に把握し 1 人 1 人に合ったサービスの提供を心掛け、利用者の意思及び人格を尊重し、計画に基づいた支援を実施した。

機能訓練や運動への取り組みに重点を置き、現在取り組んでいる口腔体操などを継続し、安全、安心な生活が送れるよう支援した。

短期入所・日中一時

短期入所利用状況 (支援区分による利用状況)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	開所日数 365日
4	8	0	0	0	9	12	11	4	9	19	28	31	131
5	40	12	17	44	41	40	40	43	40	38	9	8	372
6	14	14	14	14	13	14	14	14	14	14	14	9	162
合計	62	26	31	58	63	66	65	61	63	71	51	48	665

日中一時利用状況 (支援区分による利用状況)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	開所日数 365日
3	8	0	4	10	14	3	0	0	4	0	0	0	43
4	20	26	30	26	27	28	24	21	15	17	10	6	250
5	4	1	2	3	1	2	5	7	6	7	2	3	43
6	28	26	31	30	29	24	25	29	30	26	5	0	283
合計	60	53	67	69	71	57	54	57	55	50	17	9	619

短期入所・日中一時共に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2月より利用が減少した。居室の消毒清掃・換気等こまめに実施し、一定の間隔をあけて活動を行い感染予防に努めながら受け入れを行った。

相談支援事業所 大洲育成園

相談支援専門員 橋本哲志

1. 障害児等療育支援事業

障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育に関する相談・援助、各種福祉サービスの提供・調整を行った。

【療育支援実績】

対象地域（大洲市・八幡浜市・内子町）

事業名	内容	件数
在宅支援訪問療育等事業	支援スタッフが地域や家庭に訪問し、本人や家族からの相談に応じ家庭生活においてのアドバイス・援助を行った。	5
在宅支援外来療育等事業	本人や家族の方に来園して頂き、諸々の相談に応じるとともに療育に関する必要なアドバイス・援助を行った。	10
地域支援一般指導事業	福祉事業所などに行き、在宅障害児（者）の保育・療育に関する相談を受け、必要に応じて専門機関の支援を頂きながら助言・援助を行った。	1
合計		

2. 相談支援事業

地域で生活している当事者やその家族からの相談を受け、福祉サービスの利用援助に関する情報提供、社会資源を活用するための助言指導等、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介、関係機関や学校との連絡調整、地域で生活していくための見守りの支援などを夜間の緊急時の相談を含めて対応した。

また、各市町の障がい者自立支援協議会の運営も行った。

相談支援実施状況	大洲市		八幡浜市		内子町		合計	
	者	児	者	児	者	児	者	児
実人数	27	1	12	0	6	2	46	3
延件数	214	1	147	0	76	17	437	18

相談支援実施方法	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
訪問	85	43	25	153
来所	5	0	0	5
同行	11	11	8	33
電話	32	13	12	57
電子メール	0	0	0	0
個別支援会議	7	7	5	19
関係機関	67	72	42	181
その他	5	1	1	7
計	215	147	93	455

相談内容状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	40	24	42	106
障害や病状の理解に関する支援	0	0	0	0
健康・医療に関する支援	28	7	16	51
不安の解消・情緒安定に関する支援	17	9	0	26
保育・教育に関する支援	0	1	3	4
家族関係・人間関係に関する支援	27	4	2	33
家計・経済に関する支援	40	21	10	71
生活技術に関する支援	36	16	3	55
就労に関する支援	16	44	6	66
社会参加・余暇活動に関する支援	0	3	0	3
権利擁護に関する支援	8	10	1	19
その他	3	8	10	21
計	215	147	93	455

3. 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（計画相談支援）

大洲市から指定特定相談支援事業者と指定障害児相談支援事業者の指定を受け、大洲市・内子町・八幡浜市に在住し福祉サービスを利用する方に対して、計画相談を実施した。本人・家族の気持ちを聞かせていただき計画を作成し、利用事業所との連絡調整を図りながら、モニタリングについても定期的に行った。

○計画相談件数

(者) 計画 76 件 ・モニタリング 240 件
(児) 計画 10 件 ・モニタリング 5 件

4. 大洲市障害者虐待防止対策支援事業・家庭訪問等個別支援事業 今年度の実施件数は、なかった。

食事サービス

管理栄養士 米澤侑子

(1) 給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	生活介護	短期入所	日中一時	計
朝	7:30	夜勤・宿直者	7:45	25,616	523	0	26,139
昼	11:30	施設職員	11:45	25,345	659	677	26,681
夕	17:30	夜勤・宿直者	17:45	25,618	527	0	26,145
計				76,579	1,709	677	78,965

(2) 調理従事者

管理栄養士	調理員	計
1人	6人(うちパート2人)	7人

(3) 給与栄養目標量及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	1,850kcal	1,875kcal	ビタミンB2	1.10mg	0.98mg
たんぱく質	65.0g	69.6g	ビタミンC	100mg	118mg
脂質	51.0g	49.2g	食物繊維	19.0g	19.2g
炭水化物	282.0g	280.2g	食塩総量	7.0g	7.3g
カルシウム	700mg	1,004mg	炭水化物エネルギー比率%	61%	60%
鉄	7.0mg	17.3mg	脂質エネルギー比率%	25%	24%
ビタミンA	800μg	636μg	たんぱく質エネルギー比率%	14%	15%
ビタミンB1	1.00mg	1.02mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値(g)	給与量(g)	食品群		構成値(g)	給与量(g)
魚介類	生	55g	46.2g	いも類	いも類	50g	35.48g
	干物・乾物・塩蔵	8g	9.31g		いも加工品	5g	1.86g
肉類	練製品	10g	10.75g	果実類	果実類	60g	48.65g
	肉類	60g	81.5g		加工品	5g	4.06g
乳・乳製品	加工品	10g	12.53g	穀類	米	250g	219.87g
	牛乳	180g	181.82g		パン	25g	18.79g
卵類	乳製品	65g	84.22g	その他の穀類	めん類	25g	16.75g
		25g	31.39g		その他の穀類	2g	1.27g
野菜類	緑黄色野菜	160g	123.2g	豆類	大豆・その他の豆	5g	2g
	その他の野菜	200g	192.45g		大豆製品	40g	25.79g
	乾燥野菜	5g	0.49g	油脂類	油脂類	10g	4.6g
	野菜漬物	2g	1.19g		調味料	180g	147.58g
きのこ類		30g	砂糖及び甘味	10g	8.58g		

				料			
藻類		3g	1.21g	その他の食品		100g	109.47g
種実類		2g	0.89g	菓子類		5g	24.34g

(5) 食事形態(重複あり)

一般食	人数	特別食	人数
普通食(特大)	4人	減塩食	1人
普通食(大)	26人	マンナン食	17人
普通食(小)	17人	刻み食	33人
		ミキサー食	1人
		軟飯・おかゆ食	4人

(6) 行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
4月1日	お花見	お花見弁当	12月30日	忘年会	鍋料理
5月5日	端午の節句	こどもの日ゼリー	12月31日	大晦日	年越しそば
7月1日	開園記念日	記念日プレート	1月1日・3日	正月	おせち料理
7月8日	七夕	七夕メニュー	1月7日	春の七草	七草粥
9月12日	敬老会	敬老の日弁当	2月3日	節分	巻き寿司
9月21日	十五夜	栗ご飯・十五夜ゼリー	2月14日	バレンタイン	チョコプリン
10月31日	ハロウィーン	かぼちゃメニュー	3月3日	ひな祭り	ひな祭り御膳
11月16日	ウォークラリー	お弁当	3月21日	春分の日	ちらし寿司
12月23日	クリスマス会	クリスマスプレート			

(7) 食中毒防止対策

- ・調理従事前の手洗いの徹底
- ・喫食2時間前調理の実施
- ・月1度の検便の実施(赤痢、サルモネラ、O-157、ノロウイルス)
- ・調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- ・調理場の定期的な清掃と業者による害虫駆除
- ・原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- ・加熱調理食品の十分な加熱(中心温度85℃～90℃で1分半以上の加熱)
- ・調理従事者の毎日の健康チェック

(8) 栄養ケア・マネジメントの実施

全利用者対象に個別支援計画の一環として栄養ケア・マネジメントを実施しました。ケア計画作成のため、利用者・サービス管理責任者・看護師・管理栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い利用者及び保護者の意向を伺いました。また、利用者の身体・食事状況に問題が生じた際にはケア計画を見直し、作成し直しました。

保健医療サービス

看護師 後藤望美

利用者の健康状態を、生活におけるあらゆる機会を通して把握に努めた。また、日々の健康状態把握に加え健康診断を実施することで、病気の早期発見に努めた。異常等が発生した場合は、早急に医療機関へ連絡をとり通院及び入院に繋げた。施設内で処置が可能なものは、治療・予防等を行った。

○ 健康診断

- ・第1回<愛媛県総合保健協会> (5月18日) 70人実施
- ・第2回<喜多医師会病院> (10月～11月) 72人実施

※うち任意検査実施者～ (第1回) 骨塩定量検査 43人、前立腺特異抗体検査 23人
(第2回) 腫瘍マーカー検査 44人、大腸がん検査 40人、
乳がん検査 19人

年間2回の健康診断を実施し、結果についてはかかりつけ医に相談し、必要に応じて二次検査等を進めた。二次検査の結果で骨粗鬆症や糖尿病などの治療開始となった方や脂質異常等による変薬がみられた。

○ 歯科検診<愛媛県歯科巡回診療>

(6月11日) 68人実施 ※うち歯石除去治療者～9人

検診結果を踏まえ、虫歯のあった方については順次歯科通院治療を実施。

○ 感染症発症について

感染症発症なし。

○ 予防接種

- ・新型コロナワクチン接種 1回目・2回目 (7～8月) 71人実施
3回目 (2～3月) 69人実施

・インフルエンザ予防接種 (12月3日・10日) 71人実施

・肺炎球菌感染症予防接種

<大洲市による高齢者の今年度該当者> (1月) 4人実施

・風疹抗体検査・予防接種

<大洲市による高齢者の今年度該当者> (2月) 3名実施

○ 通院状況等

定期的に通院を実施し、投薬、処置等を受けるとともに、生活において個別に食事療法、適度な運動、日光浴 (外気浴) 等、疾病の予防に取り組んだ。新型コロナウイルス肺炎により可能なものについては薬のみ処方してもらおう等の対応をして感染予防につとめた。

○ 入院状況

延べ人数 11人 (実人員 8人) ～歯槽骨骨折、重症貧血、上行結腸憩室炎、腎盂腎炎、注腸検査 (検査入院)、上行結腸がん、肺炎、脱水、急性腎不全、軽度イレウス、食事量・体重の減少、意識障害等によるもの。

実習生・ボランティア受け入れ

月 日	学校・団体名	内 容	参加者人数
6月1日	聖カタリナ大学	福祉体験	2人
6月2日	河原学園	福祉体験	2人
3月21日～ 3月31日	東雲短期大学	保育実習 I	1人
3月22日～ 3月26日	東雲短期大学	保育実習 I	2人

クラブ活動の状況

<p>・クラブ活動の実施方針</p> <p>週1回土曜又は日曜日 10:30 から 1～2 時間程度、利用者の要望に応じたクラブ活動計画作成し、これに基づき実施する。利用者の参加する意思によって選択できるもの。</p>

クラブ名	1回当たり平均参加人数			指導担当者	実施状況
	男性	女性	計		
クラブ活動 (カラオケ、軽スポーツほか)	16	25	43	当日勤務職員により 実施	1回/週程度

※令和3年度実績：実施回数3回、延べ利用人員124人

定期的な行事開催状況

名 称	実施時期	内 容
誕生会 利用者会議	毎月1回	おやつを提供し飲食。当月誕生者をみんなで祝福する。 各部内で、生活の改善や要望を話し合う。
業者散髪	毎月第1月曜	「カットスタジオひらた」に来園いただき、希望者の散髪を実施する。※ 有料
ミュージック ケア	月1回	外部講師によるミュージックケアを希望者を募り実施する。

・フライングディスク ・ペタンク ・ウォークラリー大会	年間3回	コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止された行事の代替えとして年間3回実施する。
-----------------------------------	------	--

福祉サービス第三者評価の受審

※今回3回目の受審

日時	内容	備考
令和3年6月7日	申込作成、送付	愛媛県社会福祉協議会調査支援課
令和3年7月20日	受審に係る説明、質疑応答	愛媛県社会福祉協議会山田氏、来園 大洲育成園と合同。於大洲育成園相談室
令和3年7月27日	福祉サービス第三者評価実施開始日	
令和3年10月11日 ～11月4日	福祉サービス第三者評価に係る自己評価の実施	全職員が参加対象 ※パート職員等を除く
令和3年12月9日 ～10日	実地調査	於大洲育成園
令和4年2月3日	第三者評価の報告会 及び 福祉サービス第三者評価実施期間終了	於大洲育成園、ZOOM ミーティング
令和4年2月3日	福祉サービス第三者評価受審証、交付	愛媛県

【総括】この事業実施に係る自己評価について全職員による協議ができたことは、大きな成果。第三者評価を受審して明らかになった課題に対し次年度より少しずつ取組みたい。

※結果は、愛媛県HPで公開中。

苦情解決への取組み

NO	受付日	受付者	種別	苦情内容	対応
—	—	—	—	—	—

※令和3年度については、件数0でした。

◎サービス相談日の開催

開催起案日	開催日	用務	内容
令和3年6月3日	令和3年6月24日	サービス相談日 出席:西岡正人氏 伊賀 弘氏 神元寿子氏	令和2年度第三者委員活動の総括、大洲学園施設見学 利用者8名と面談。要望数件あるものの苦情は無。
令和3年8月25日	令和3年9月14日	サービス相談日 出席:西岡正人氏	利用者5名と面談。要望数件あるものの苦情は無。
令和3年11月11日	令和3年12月2日	サービス相談日 出席:伊賀 弘氏	利用者4名と面談。要望数件あるものの苦情は無。
令和4年2月2日	—	サービス相談日	法人内新型コロナウイルス感染症蔓延により中止。

4 法人連携協定会議

高知県 昭和会 徳島県 柏涛会 愛媛県 福角会 大洲育成園

月	日	内 容
9	30	・協定会議 担当 大洲育成園 各法人オンライン会議 (zoom) 参加者 澤井理事長 池田施設長 沖嶋事務長 中岡支防火管理責任者 谷山
11	10	・合同防災訓練 担当 大洲育成園 各法人オンライン会議 (zoom) 参加者 澤井理事長 池田施設長 沖嶋事務長 祖母谷係長 中岡支防火管理責任者 谷山
12	21	・人事交流研修 担当 昭和会各法人オンライン会議 (zoom) 米澤総務係長 谷山
1	13	・昭和会 施設見学 「人材育成カリキュラム」について 昭和会より2人来園 対応 岩津係長
3	22	・協定会議 担当 柏涛会 各法人オンライン会議 (zoom) 参加者 池田施設長 宮脇次長 沖嶋事務長 中岡支防火管理責任者 谷山

利用者会議

【参加状況】

単位：人

実施日	4月 27日	5月 30日	6月 27日	7月 25日	8月 30日	9月 27日	10月 31日	11月 28日	12月 26日	1月 31日	2月 28日	3月 28日
1F男性19名	19	19	18	18	18	18	19	18	17	17	17	17
1F女性16名	15	16	16	16	17	17	17	17	17	18	18	17
2F男性21名	22	22	20	21	21	21	21	19	19	20	21	20
2F女性18名	18	18	18	18	22	18	17	17	18	16	16	16

各フロアに分かれて利用者の中から進行係を決めて支援者が補助し、意見等が出やすいように支援しながら会を進めた。当日利用の短期入所及び日中一時の利用者も参加した。

【議題】

1. 生活全般について（困っている事/改善してほしい事/健康面等）

- ・日常生活の中で利用者同士のトラブル等が見られるため、個人的に話すのではなく、利用者会議を通して意見や改善内容等を出しあい、その中でみんなで情報を共有して快適な生活に繋がるよう会議をすすめた。また、季節の変わり目の体調不調の訴えや衣服や寝具の入れ替え、エアコンの調整、感染症の予防などへ意識付けと確認支援を行った。
- ・設備等で部屋の電球切れや共有場所の不備等を尋ねては確認と改善を行い、安全で安心な生活が送れるように配慮した。

2. 日中活動について

- ・コロナ禍における活動のあり方を話し合い、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施出来るレクリエーションの内容等を提案し、楽しく活動が出来るように努めた。

3. 食事について（メニュー要望等）

- ・食べたいメニューを伺い献立に取り入れたり、苦手なメニューが出て、身体にとって必要な栄養である事等を説明して、栄養摂取のアドバイスをを行った。

4. 行事について（各行事の情報を伝え、参加希望や意見、参加した行事の感想等）

- ・実施した施設行事や参加した催しもの、レクリエーション等に対し感想や意見を伺い、次回への参考にした。また今後の行事や地域イベントの情報提供を行い、参加等の希望に対応できるように配慮した。

5. その他（様々なテーマで話し合う）

- ・利用者からの重複した内容でも、意思を尊重し自由に意見が述べられるような雰囲気を作りながら意見を伺った。

6. 誕生会

- ・当月の誕生者を紹介し、みんなで歌い、季節の菓子等を頂きながらお祝いをした。

職員会

実施日	4月 27日	5月 27日	6月 29日	7月 30日	8月 25日	9月 28日	10月 28日	11月 25日	12月 28日	1月 31日	2月 28日	3月 31日
参加者(人)	7	9	11	8	8	7	9	7	7	8	7	9
内 容												
1. 施設長挨拶 2. 事務連絡 3. 利用者会議フロア会議等からの議題検討 4. 施設入所利用者状況報告 5. 日中活動状況報告 6. 各種委員会報告 （サービス向上・レクリエーション・倫理・地域交流・研修・保健給食・安全衛生・広報・リスクマネジメント・支援マニュアル/個別支援・苦情報告） 7. 行事関係 8. その他（研修会報告等）係長会を毎月行い情報共有と協議を行う。												

支援会議

施設入所・生活介護

月	件数	内 容
4	2	日中活動・業務について。 フロア責任者会議の内容検討
5	1	新年度に入り1ヵ月を終えての問題点や課題についての検討。
6	2	利用者担当者についての検討。 大洲学園における身体拘束についての検討。
8	2	入浴時間帯の変更について。 女性利用者の食堂の座席について。
9	1	コロナウィルス感染症対策レベル引き下げに伴う日中活動について。
10	3	夜勤時や昼食時、朝の生活支援時などの利用者支援の在り方について フロアの支援、業務改善について。 利用者のフロア変更について。
11	2	フロア支援の状況について。 雨天時の布団乾燥について。
12	1	園外活動、日中活動について。
1	1	豆まき・ひなまつり行事の内容検討。
3	1	令和4年度事業計画見直し。
計	16	
備考		※個別支援計画に関する会議は「件数」に含まない。
		<p>個別支援計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9、3月には利用者のモニタリング及び個別支援会議を実施し、計画を見直した。入院等の状況変化に伴う見直しも随時行った。 ・拘束に関する内容や行動障害対応の支援会議を行った。

各種委員会活動

(1) サービス向上委員会

利用者の快適な生活に伴う適切なサービス提供のため、利用者会議やフロア会議、職員会等から提案された「支援・設備・環境」等の検討及び改善を図った。

検討,改善の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・大洲学園との交流行事について、コロナが落ち着いてから実施する方向で検討 ・園内の環境整備で草刈りの実施、壁面飾り ・修理や改善が必要な個所の確認（トイレの水漏れ、シャワーの温度設定） ・食事支援の対応、食事提供の見直し

【総括】利用者の快適な生活確保のため、上記の内容を検討し改善を図った。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症に伴い外出を自粛することもあり、生活用品不足の買い物については代行で対応した。また、園内環境を充実し、季節感が感じられるように配慮した。

(2) 地域交流委員会

実施日	内 容
4月5日	フライングディスク大会（利用者 77・支援員 14）
7月1日	開園記念日（利用者 70・支援員 16）
8月7日	桃太郎工房夏祭り（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止）
9月12日	敬老会・ペタンク大会（利用者 70・支援員 14）
11月16日	ウォークラリー大会（利用者 65・支援員 14）
12月5日	イルミネーション（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止）
12月23日	クリスマス会・園内イルミネーション（利用者 65・支援員 11）
【総括】	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者・地域の方々が楽しみにされていた園最大の行事「桃太郎工房夏祭り」と「イルミネーション」が中止となり、コロナ禍でも利用者の方に少しでも楽しんで頂きたいとの思いで、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施出来るレクリエーションを企画・実施し楽しんで頂く事が出来た。</p>	

(3)安全衛生委員会

防火管理者 中岡 靖之

訓練及び法定点検等の実施状況

実施日	実施内容	参加者
5月24日(水)	大洲消防署へ消防計画書提出届出(人員配置替えによる変更)	
5月31日(月)	施設内安全点検 安全対策チェック表を配布し、リストに基づき点検を実施	
6月20日(日)	土砂災害訓練防災訓練 避難要請者3人受け入れ コロナ禍での避難所開設、設営を行った。	81人
6月23日(水)	土砂災害想定での連絡訓練全職員に対し、一斉メール送信を行う。	40人
8月11日(水)	防災教育: 大洲消防職員による一次救命処置(AED)、 心臓マッサージについての防災教育を実施	6人
8月17日(火)	避難訓練 日中、震度6強の地震が発生を想定して訓練を実施	87人
10月13日(水)	防災教育: 大洲消防職員による一次救命処置(AED)、 心臓マッサージについての防災教育を実施	4人
10月15日(金)	愛媛県原子力防災訓練 大洲市災害対策本部より原子 力災害発生時の防災無線を確認し屋内退避訓練を実施	84人
10月27日(水)	総合訓練 大洲消防署立ち合い、日中、厨房から出火 を想定し訓練を実施	81人
10月28日(木)	防犯訓練 大洲警察署職員来園、職員対象として 防犯についての心構え、さすまたの指導方法を学んだ	9人
11月27日(土)	施設内安全点検 施設内安全点検を安全衛生委員会 メンバーで確認する。	人
11月27日(土) 11月28日(日)	防災士養成講座 講習会、筆記試験を受ける	2人
11月30日(火)	連絡訓練: 全職員に対し、一斉メール送信を行う。	40人
12月17日(金)	地震防災訓練 シェイクアウトえひめ 県民総ぐるみ 地震防災訓練を実施	81人
12月27日(月)	避難訓練 火災想定 日中洗濯場から出火した想定で 実施した。	83人
2月14日(月)	施設内安全点検 安全対策チェック表を配布し、リス トに基づき点検を実施	人

【総括】

今年度も事業計画に沿って、予定通り実施したが、コロナの影響により、毎年防災教育として行っている心肺蘇生法、広域ルート確認は中止とした。

しかし、今年度は大洲警察署員に依頼し防犯についての心構えとしての講義やさすまたの使用方法についての講習会を新人職員対象で行えた。講習会を通じ普段触れる事のない、さすまたを使用しての実践練習が出来防犯についての意識や理解を深められて良かったと思う。土砂災害避難訓練では要避難要請者（3人）を受け入れ避難所の開設、設営を実践形式で行った。コロナ禍の状況でマスク着用、検温消毒液の設置しソーシャルディスタンスを保ちながら取り組めた。

また、今年度は防災士養成に努め、2人の防災士を取得出来た。

次年度も防災士育成、啓発を呼びかけながら、少しでも関心が持てるように取り組んでいきたい。

（4）支援マニュアル見直し委員会

マニュアル製本等作成委員会により全面的な見直しを行い、「支援マニュアル」ハンドブックを全職員へ配布して約4年が経過し、利用者への様々な支援、介助の状況等から支援マニュアルの見直しが必要になり、この委員会で検討し一部の改正を行った。

（5）感染症防止対策委員会

5月21日	<p><新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について検討></p> <p><5/21 愛媛県の「まん延防止措置」が5/23で解除される事を受け、施設外の就労事業者の「Saおいでや」サビ管の中野氏より5/24から施設外就労の利用者の方の利用についての問い合わせがある></p> <p>育成園としては、愛媛県の「感染対策期」が5月末までになっている事を受けそれまでは施設外就労について中止する事で申し合わせる。</p>
5月28日	<p><新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について検討></p> <p>愛媛県の「感染対策期」が5月31日で解除され、6月1日から「感染警戒期」の「特別警戒期間」に引き下げられた事を受け話し合う。</p> <p>施設内にコロナウイルス感染症を持ち込まないよう「特別警戒期間」については以前の「特別警戒期間」同様、下記の内容で対応する事とする。</p>
6月23日	<p><新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について検討></p> <p>愛媛県より6/22、「感染警戒期（特別警戒期間）」から「感染警戒期」に移行しました。しかし、県外との往来に起因する感染リスクは依然高く、緊急事態宣言地域を含む、「まん延防止等重点措置地域等との不要不急の出張や往来の自粛」については、引き続き、特措法に基づく要請として継続します。との通達があり感染症対策委員会で大洲育成園の方針について話</p>

	<p>し合う。</p> <p>「感染警戒期」については、下記の通り対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日中活動～各フロアを活動の場として、小グループで活動を行う。 日常生活訓練室、食堂、会議室等を順番に利用し、移動や広い所での場所で動く事も取り入れ、ストレスを溜めないように配慮する。 ○園外活動～利用者の外出は控える。必要な物があれば、支援員代行での買い物を検討する。散髪は施設内の業者散髪を利用。 ○通院～通院については、通常通り通院する。 ○就労事業者利用者の対応～施設内にコロナ感染を持ち込ませない事が重要な為継続して利用は中止する。
9月30日	<p><新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について検討></p> <p>愛媛県知事よりより 10/1、「感染対策期」から「感染警戒期」に移行する事が発表され、本日、大洲市役所社会福祉課 新穂課長より、昨日の中村県知事のコロナ感染症についての会見に伴い、大洲市立の施設における対策通達がありました。面会、外出、外来者入室などは原則禁止として従来と同じ対策です。一部緩和策としては、利用者の買物等による近場への外出は認めるとの見解があり、感染症対策委員会で大洲育成園の方針について話し合う。「感染警戒期」については、下記の通り対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日中活動～グラウンド、日常生活訓練室、食堂、会議室等を利用し、広い場所での活動を徐々に取り入れ、ストレスを溜めないように配慮する。 ○園外活動～平日の午前中 9:30～11:00 までの時間帯は利用者を伴っての園外活動は可能とする。散髪は施設内の業者散髪を利用。 ○通院～通院については、通常通り通院する。 ○就労事業者利用者の対応～施設内にコロナ感染を持ち込ませない事が重要な為継続して利用は中止する
1月10日	<p><新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について検討></p> <p>愛媛県の新型コロナウイルス感染警戒レベルが引き上げになり、「感染警戒期」になったことを受け、今後の対応について話し合いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就労継続支援 B 型事業所利用の利用者について 通例通り、事業所への通所を中止し、感染リスクの軽減を図る。 ○日中活動について 日中活動については、現状通りの活動を実施する。ただし、手洗いうがいの徹底と体調確認の徹底を図る。 ○通院について 1/11 「感染警戒期」期間については通常通り通院する。 ○外出・面会について

	<p>現状提出されている園外活動は実施する。ただし、新たな園外活動受付については、利用者を伴ってのものは不可、職員の代行は可とする。</p> <p>面会については、体調確認と面会者の行動履歴確認の上、2週間以内の感染拡大地域への出入りがない場合のみ、生活圏内に入らず別室での短時間面会を可とする。外出は不可とする。</p>
2月14日	<p><大洲学園新型コロナウイルス感染症蔓延を受けての対応> 協議内容】</p> <p>①大洲学園新型コロナウイルス蔓延を受けての、応援職員選定及びそれに伴う大洲育成園への応援職員受け入れについて。</p> <p>②勤務表の変更について</p> <p>③一時的な業務の見直しについて</p>

(6) 人材育成委員会

- ・カリキュラムを実施することにより、正しい知識と実際の支援の結びつけをできる職員を育てる事を目的として、育成期間において成功体験を植え付けられるカリキュラムを実施した。

<4月>

- ・レクリエーション・行動規範、各種規定・給与関係・防災教育、防犯教育
- ・ビジネスマナー・親睦会・個人目標の設定について・利用者を含めたレクリエーション・支援マニュアル・リスクマネジメント・倫理・日中支援について (1F 女性)・日中支援について (1F 女性)・知的障害者の医療
- ・知的障害者の保健衛生、看護・知的障害者援助技術・知的障害者の生活支援・事例研究・知的障害者の心理・PC活用・ワークライフバランス

<5月>

- ・知的障害者福祉総論・障害福祉事業のマネジメント・重複障害者援助技術
- ・自閉症者援助技術・生活介護のイベント企画・夜勤業務への準備

<6月>

- ・OJT資料の作成

<7月、8月>

- ・マニュアル通りの勤務実施。

<9月>

- ・正規職員になる為の準備

(7) 虐待防止・リスクマネジメント委員会

11月15日	虐待防止チェックリスト第1回目実施について 11/22～11/30 実施
12月16日	チェックリスト第1回目の集計、結果内容検討。
1月13日	大洲育成園・大洲学園合同 虐待防止研修会

1. ヒヤリハット報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落			3		2		4	2				2	13
暴力・暴言	5	1	7	3	13	3	6	4	4	2	2		50
怪我	1				1		1		1				4
食事トラブル							1	1		1			3
服薬トラブル	2	1	2		3	3	1	2	3	1	2	1	21
無断外出													0
その他							1						1
合計	8	2	12	3	19	6	14	9	8	4	4	3	92

2. 事故報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	3		1	1		1	1			2			9
暴力・暴言				1							1		2
怪我・負傷	2				1	2	2		1			1	9
食事トラブル													0
服薬トラブル	1			1	1	1	1		1		3	1	10
無断外出				1									1
その他				1	1		1		1				4
合計	6	0	1	5	3	4	5	0	3	2	4	2	35

※ヒヤリハットの報告数は年々増えており、事故に対する意識や気づきが増えてきたように感じる。事故につながる前に対策を図っていききたい。今年度は服薬に関する報告が多く、ヒヤリハット、事故ともに前年と比べかなり多くなっている。利用者が高齢になり上手く服用できず口元から落ちるケースもあったが、人的なミスもみられ、改めて服薬マニュアルに基づいて支援に当たるよう周知を行った。事故では転倒による骨折や、手術を要する事故も起きている。利用者の高齢化が進み、安全に生活でき安心できる支援を心がけていきたい。

(8) 研修委員会

令和3年度研修委員会として大洲学園と大洲育成園でどのように行っていくかを検討し大洲学園より、車椅子の利用者も増えてきていることから車椅子の使い方や移乗の支援が慣れていないところがあり、職員の介護技術の向上のための研修が必要であることから研修を設ける必要性を感じ、介護技術の研修を実施した。

〈実施内容〉

施設内職員研修一覧

研修実施日	研修内容	参加者	担当者
8月3日 5日	大洲育成園・大洲学園合同【介護技術研修会】	28人	研修委員会
1月13日	大洲育成園・大洲学園合同【虐待防止研修会】	25人	研修委員会

【総括】

施設内の現場研修ではリフトの正しい使い方、障害者虐待防止について、介護技術・知識の向上を図った。

(9) 広報委員会

令和3年度の広報誌 (年4回の発行)

4月1日発行 大洲育成園だより「つばさ」春号《第275号》

7月1日発行 大洲育成園だより「つばさ」夏号《第276号》

10月1日発行 大洲育成園だより「つばさ」秋号《第277号》

1月1日発行 大洲育成園だより「つばさ」冬号《第278号》

【総括】

ホームページの運営として、担当者にその都度記事を依頼し、利用者の様子や法人の情報等随時ホームページを更新して、発信に努めた。